

広島大学法科大学院

法律科目試験

[憲法]

2022年8月27日(土)

13:20~14:20

注意事項

- 1 ページ数は、表紙を除いて、2ページです。
- 2 問題は1問、解答用紙は1枚、下書用紙は1枚です。解答用紙の記載を確認し、所定の解答用紙を使用してください。
- 3 解答は所定の解答用紙に横書きで書いてください。罫線外及び裏面を使用してはいけません。なお、使用する筆記用具の指定はありません。
- 4 解答用紙の所定の箇所には、受験番号のみを記入してください。氏名を書いてはいけません。
- 5 配布した解答用紙は持ち出してはいけません。
- 6 試験時間の途中で退室することはできません。
- 7 試験終了後、問題冊子及び下書用紙は持ち帰ってください。

[憲法] (60点)

日本と国交のあるA国では、A国政府と対立する団体Bによる過激な活動が頻繁に行われており、これまで団体Bが日本国民を含む外国人を襲撃・誘拐する事件が、複数回発生していた。日本の外務省は、A国の危険レベルを4段階中のレベル4とし、A国からの退避及びA国への渡航中止を日本国民に呼びかけていた。

著名なジャーナリストである日本国民Xは、団体Bの最高指導者Cへの取材のため、A国への渡航を考えていることを公表していた。これに対して日本の外務省は、XのA国における安全を十分に確保できないと判断し、Xに対して再三にわたり渡航中止を呼びかけていた。しかしXは、「自分には、世界の真実を伝えるジャーナリストとしての責任がある。また、すでにCとの間で取材交渉は終え、日程も確定しており、今さら取材を中止することはできない。」として、当初の意思を変えないまま、A国への渡航を具体化する計画を立てていた。そこで外務大臣は、旅券法（以下「法」という。）19条1項柱書及び4号に基づいて、Xに発給していた旅券の返納を命じた（以下「本件命令」という。）。返納を命ぜられたにもかかわらず、期限内に返納しなかった者に対しては罰則が設けられていることから（法23条1項6号参照）、Xは、旅券を返納せざるを得なくなり、当初予定していた期日でのA国への渡航ができず、取材が不可能となった。

Xは、本件命令により損害を被ったとして、国に対して賠償請求をする訴訟を提起し、そのなかで憲法上の主張をすることを考えている。Xとしては、具体的にいかなる憲法上の主張をすることが考えられるかを簡潔に説明し、当該主張の当否について検討しなさい。

[参考条文]

旅券法（抜粋）

（返納）

第19条 外務大臣又は領事官は、次に掲げる場合において、旅券を返納させる必要があると認めるときは、旅券の名義人に対して、期限を付けて、旅券の返納を命ずることができる。

一～三 （省略）

四 旅券の名義人の生命、身体又は財産の保護のために渡航を中止させる必要があると認められる場合

2～6 （省略）

（罰則）

第23条 次の各号のいずれかに該当する者は、5年以下の懲役若しくは300万円以下の罰金に処し、又はこれを併科する。

一～五 （省略）

六 第19条第1項の規定により旅券の返納を命ぜられた場合において、同項に規定する期限内にこれを返納しなかつた者

七 （省略）

2～4 （省略）

出入国管理及び難民認定法（抜粋）

（日本人の出国）

第60条 本邦外の地域に赴く意図をもって出国する日本人（乗員を除く。）は、有効な旅券を所持し、その者が出国する出入国港において、法務省令で定める手続により、入国審査官から出国の確認を受けなければならない。

2 前項の日本人は、出国の確認を受けなければ出国してはならない。

広島大学法科大学院

法律科目試験

[刑法]

2022年8月27日(土)

14:40~15:40

注意事項

- 1 ページ数は、表紙を除いて、1ページです。
- 2 問題は1問、解答用紙は2枚、下書用紙は1枚です。解答用紙の記載を確認し、所定の解答用紙を使用してください。
- 3 解答は所定の解答用紙に横書きで書いてください。罫線外及び裏面を使用してはいけません。なお、使用する筆記用具の指定はありません。
- 4 解答用紙の所定の箇所には、受験番号のみを記入してください。氏名を書いてはいけません。
- 5 配布した解答用紙は持ち出してはいけません。
- 6 試験時間の途中で退室することはできません。
- 7 試験終了後、問題冊子及び下書用紙は持ち帰ってください。

[刑法] (60点)

次の【事例】を読んで、(1)及び(2)の問いに答えなさい。

【事例】

某日深夜、警察の捜査協力者であるXは、暴力団組織の事務所において、同組織に所属するAに捜査協力者ではないかと怪しまれ、同人から拳銃を右こめかみに突き付けられ、同事務所で監禁されているBに覚醒剤を注射するように言われた。Xは、断れば殺されると思い、その場から離れるためにはBに覚醒剤を注射するしかないと決意して、Aから渡された覚醒剤が入った注射器でBに注射した。すると、Aが、「もう一本打て。」と言って更に覚醒剤が入った注射器を渡してきた。Xは、通常の2回分の覚醒剤を注射すれば、暴行を受けて衰弱した様子のBが死亡するかもしれないと思ったが、断れば自分が殺されるとの恐怖心から、再度、覚醒剤をBに注射した。

Bは、一命を取り留め、入院加療を要する覚醒剤による急性薬物中毒の傷害を負った。Bに注射された覚醒剤の量は、衰弱している人であれば死亡する危険性が高いもので、実際にBは注射されたとき暴行や監禁により衰弱していた。

- (1) 刑法37条1項にいう「やむを得ずにした行為」について、正当防衛と比較しながら論じなさい。
- (2) Xの罪責について、緊急避難が成立するとの立場から説明した上で、その可否を論じなさい(特別法違反の点は除く)。

広島大学法科大学院

法律科目試験

[民法]

2022年8月27日(土)

16:00~17:20

注意事項

- 1 ページ数は、表紙を除いて、1ページです。
- 2 問題は2問、解答用紙は2枚、下書用紙は1枚です。解答用紙の記載を確認し、所定の解答用紙を使用してください。
- 3 解答は所定の解答用紙に横書きで書いてください。罫線外及び裏面を使用してはいけません。なお、使用する筆記用具の指定はありません。
- 4 解答用紙の所定の箇所には、受験番号のみを記入してください。氏名を書いてはいけません。
- 5 配布した解答用紙は持ち出してはいけません。
- 6 試験時間の途中で退室することはできません。
- 7 試験終了後、問題冊子及び下書用紙は持ち帰ってください。

[民法] (80点)

第1問 (30点)

Aは、自宅キッチンのリフォームを計画し、複数の工務店から見積りをとって契約をすることを告げて、BCDの3社の工務店から見積りをとった。Bは、見積総額を「1,523,000円」と書くべきところを「1,253,000円」と誤って書いた見積書を誤りに気が付かずにAに提示してしまった。Aは、Bが比較的安い価格であり、自宅からも近い工務店であったことから、Bと見積書に書かれた金額で契約を締結した。その後、Bは、見積価格の誤記に気が付いた。

Bは、金額の誤記を理由に、Aとの契約を解消したいと考えている。Bは、どのように主張することができるか、検討しなさい。

第2問 (50点)

小麦を輸入する商社Aと問屋Bは、本年4月にAを売主として、引渡期日を6月末、AがBの指定する倉庫に小麦を届ける内容の小麦の売買契約（以下「本件契約」という。）を締結した。このことを前提に次の(1)及び(2)に答えなさい。なお、それぞれは独立した問題である。

(1) 本件契約を締結した翌日、突然、C国が小麦の世界的産地であるD国に侵攻したため、その後に小麦が高騰していった。Aは、Bに代金の値上げを求めたが、Bはこれに応じなかった。その後、7月に入り、Bは、Aに対し相当な期間を定めて小麦の引渡しを求めたが、Aが引渡しを拒否しBが定めた期間も過ぎた。そこで、BはAに対し、損害賠償を請求したいと考えている。Bは、どのような法的根拠に基づいて、どの時点の、どのような損害賠償を請求することができるか、論じなさい。

(2) 本件契約の引渡期日にAがBの指定する倉庫に小麦を持参したが、Bが「品質が悪い」と不当に主張して受け取らなかった。その後、7月末になりBは小麦を受け取った。そこで、AはBに対し、履行期以降の増加した保管費用を請求したいと考えている。この場合のAの請求の法的根拠を指摘した上で、この請求が認められるか、論じなさい。